

第6学年特別活動（学級活動）学習指導案

日 時 平成20年11月 5日（水）5校時

場 所 6年2組教室

児 童 6年2組 男19名 女15名 計34名

授業者 瀬谷 圭太

1 題材名 夢に向かって光り輝け6年2組 ～卒業76日プロジェクト～感謝・伝統・思い出作り～

2 題材について

（1）題材観

本題材は、卒業の時期を間近に控えた児童に対して、卒業までの4ヶ月間の小学校生活の中で、これまでにお世話になった人たちに対する感謝の気持ちと一層充実した生活を送ろうとする態度を育てることを意図したものである。児童は、この時期大きな学校行事である学習発表会を終え、落ち着いた生活を送る時期である。しかし、卒業式まで残り4ヶ月となった今の時期は、卒業することに対する意識は薄く、明確な目標をもたずに生活している児童が多い時期であると考えられる。

そこで、「卒業76日プロジェクト（仮題）」として本題材の学習を設定することで、次の三つの心情や態度を育てる活動を行う。

- ・小学校生活の中で自分たちの生活を支えてくれた人や物に対して感謝の気持ちを表す活動
- ・自分たちが先輩から引き継いできた学校の伝統を、後輩である下級生によりよいものとして引き継ぐ活動
- ・卒業に向けての取組を行い、小学校生活の思い出を一つでも多く作る活動

これらの活動をとおして、近い将来である中学校生活に向けた目標や遠い未来の夢を実現するため、今の学校生活を充実させようとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

また、キャリア教育の観点からは、

- ・自分の長所や欠点に気付くなど、自他を理解する能力
- ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる能力
- ・相手の考えを大切に思いやりの気持ちをもってコミュニケーションをする能力
- ・憧れとする職業をもち、今、しなければならぬことを計画し実行する能力

以上四つの進路発達に係る諸能力を育てたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童観

全体的に明るく素直で積極的に活動に取り組む児童が多い。特に体育的行事に関する取組では、自分の限界に挑戦し、自分自身を高めようと努力を重ねてきた。また、協調性があり、児童会活動では、小学校の最高学年として全校の手本となり、協力して活動に取り組むことができた。

しかし、日常生活の様子を見ると、担任とのつながりや、小グループ内での友達どうしのつながりは強く感じられるものの、学級全体としてつながりがやや欠けるように見える。6月に実施したQUテストでは、自分のこと、学級のことをしっかりと見つめ、よりよいクラスにしていきたいという思いをもっている児童が多いという結果であった。その反面、発達段階から心身のバランスが崩れ、自分のことしか見えていなかったり、恥ずかしいという理由から周囲の目を気にして実際に

行動に表せなかったりする傾向があると診断されている。

そこで、互いのよさに気づき認め合ったり、改善すべき点を指摘し合ったりしながら、自分たちの生活をよりよいものにしようとする態度や、人との関わりの中で自分が成長してきたことに気づき他者に感謝する気持ちを育てたいと考え、本主題を設定した。

(3) 指導観

指導にあたっては、卒業まで残り4ヶ月というこの時期をとらえて、児童にこれまでの活動を振り返らせるとともに、自分の近未来の目標や将来の夢について考えさせることで、今の自分の生活を見つめ直し、問題点に気づくようにする。

そのために、事前に次の三つの活動を行う。

- ・自分のこれまでの人生を振り返りながら、自分史を作る。これにより、自分がどのように成長してきたのか、またたくさんの人たちの支えと協力のおかげで今の自分があるのかに気づかせ、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつようにする。
- ・ゲストティーチャーを招聘し、夢を実現させた人の体験談を聞く。これにより、働くことの意義や大切さに気づかせるとともに、将来の夢について考えるようにする。
- ・学級目標に対するこれまでの取組について自己評価する。これにより、自分たちの生活を見直し、改善点を明らかにする。

また、本題材の事前学習では、特に次の三つの教科及び領域の学習と関連付けることで、自分自身の生き方や生活に目を向けさせ、課題に気づかせる。

- ・国語科の学習では、宮澤賢治の学習を取り上げる際に、人物の生き方について自分なりの考えをもたせるような活動を意図的に計画する。
- ・社会科の学習では、歴史上の人物の生き方について重点的に取り上げ、それに対する自分の考えをもたせる活動を意図的に計画する。
- ・道徳の学習では、不撓不屈の価値項目に関わり、運動選手の生き方を描いた資料を意図的に取り上げ、人物の生き方とそれに対する自分の考えをもたせる活動を意図的に取り上げる。

次に、本時の指導にあたっては、次の点に留意して授業を展開する。

- ・課題に気づく段階では、事前に実施したアンケート調査の結果を活用し、個人・学級全体の問題として真剣に考えられるようにする。
- ・課題解決に向けて考え・話し合う段階では、小グループでの話し合い活動を取り入れ、友達の意見や考えを認め合えるようにする。また、学年の始めに立てた四つの学級目標を観点から、実践に向けてどのような活動に取り組むとよいのか具体的な内容について話し合えるようにする。
- ・学習を振り返る段階では、振り返りカードを活用することで、話し合った内容を確認するとともに、実践化への意欲付けと学級生活の充実や向上に向けて意識化を図りたい。

最後に、事後の実践の段階では、自己評価及び相互評価活動を位置付け、卒業に向けての取組について評価し、活動の様子を見直しながら取り組むようにする。

3 題材目標

今までの自分たちの生活を振り返ったり、自分の近未来の目標や遠い将来の夢について考えたりすることで、自分たちの生活を見直し、卒業までに今の自分たちができることを具体的に考え、実践することができる。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
自己の生活を振り返り、よりよい生活を目指そうとしている。	自己の課題を見だしよりよい改善の方法を考え、判断している。	自己の立てた目標に基づき、よりよい方法で実践することができる。	卒業に向けてよりよい生活を送ることの大切さや実践方法を理解している。

5 本題材におけるキャリア教育のポイントと進路発達にかかわる能力

(1) キャリア教育のポイント

- ・相手の立場や考えを尊重し、協力して活動しようとする態度を育てる。
- ・職業等に関する様々な情報の中から自分にとって必要な情報を選択し、自己の進路や生き方を考えようとする態度を育てる。
- ・自らの将来の在り方を考える大切さに気付き、職業に対する憧れの思いをもたせる。
- ・自ら課題を見付け、課題解決のための方法を考え、主体的に取り組もうとする態度を育てる。

(2) 進路発達にかかわる諸能力

領 域	能 力	具体的な能力・態度
人間関係形成能力	自他の理解能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所や欠点に気付き、自分らしさを発揮する。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。
情報活用能力	情報収集・探索能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に必要な情報を探す。 ・気付いたこと、分かったことについて、個人・グループでまとめたことを発表する。
将来設計能力	役割把握・認識能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。
	計画実行能力	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のことを考える大切さが分かる ・憧れとする職業を持ち、今、しなければならないことを考える。
意志決定能力	課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ・将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。

6 指導構想

月	学習活動	ねらい	キャリア教育の視点			
			人間 関係	情報 活用	将来 設計	意志 決定
8	・過去を振り返ろう	・自分のこれまでの人生を振り返りながら、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつ。	○			
9	・過去を振り返ろう ・自分史を作ろう	・自分史を作ることで、自分がどのように成長してきたか、たくさんの方々の協力のおかげで今があることを再確認する。	○			
10	・未来を考えよう ・体験談を聞こう (ゲスト招聘予定)	・将来の夢について考える。 ・夢を実現させた人の話を聞き、働くことの意義や大切さに気付く。		○	○	
11	・今の自分を見つめよう ・夢を実現させるための自己決定 ・アルバム作りをしよう	・自分の夢に向かって、卒業までに今の自分たちができることを具体的に考え、実践できる具体的なめあてをもつことができる。	○	○		○
12	・夢に向かっての行動を振り返ろう ・文集作りをしよう	・自分たちが考えた活動を行うことで、卒業に向けて成長している自分に気付く。				○
1	・呼びかけのこたばを作ろう	・これまでの学校生活を振り返り、思い出を思い起こし、卒業式での呼びかけの言葉に表す。				○
2	・金小に伝統を残そう ・校内クリーン作戦	・お世話になった学校に感謝の気持ちを表す。				○
3	・卒業式を成功させよう	・これまでの取組の成果を自分で認め、夢に向かって光り輝くことを誓う。	○			

7 本時の指導

(1) 目標

自分の夢に向かって、卒業までに今の自分たちができることを具体的に考え、実践できる具体的なめあてをもつことができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、最初に事前に行われた学級目標の振り返りアンケートの結果を発表すること(平均点の発表)から始める。これによって、今の6年2組全体の実態を全員に把握させたい。さらに、このアンケートを集計した学級役員に結果を考察させたいと考える。このことから、学級の問題となる点を浮かび上がらせたいと考える。

次に、この結果を受けて、感じたことを子どもたちに考えさせて発表させる。この際には結果の平均点だけではなく、最高値、最低値、一番多かった値なども紹介して学級の傾向をつかませてから発表させたいと思う。これにより、自己の生活を振り返りよりよい生活を目指させたいと考える。

4月に学級で作った目標が達成できていない現状を見つつ、卒業まで何日かを数えさせ、期間が限られた中で、自分たちが学級目標のどこをどのようにした方がよいかを考えさせる。具体的には、四つの項目の達成を出させたい。

そして理想と現実のギャップに直面したところで、自分たちはどうしたらよいかを具体的方策を考えさせる。出て欲しい言葉としては、「感謝」「伝統」「思い出」などである。これらの言葉などが出たら、自己の課題を見だし、よりよい改善の方法を考え、判断させるようにしたい。

終末には、この取り組みの具体案を可能な限り出させつつ、活動の題名を考えさせたい。教師から「卒業76日プロジェクト」として提示はするが、子どもたちからの斬新な題名がでてくることを期待したい。最後には、学級目標とその具体的行動項目を確認し、学年目標に話を広げて、4月からの流れが今につながり、今の行動が卒業につながっていることを話し、今後の活動への意欲付けとしていきたいと考える。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点（・）と評価（◎）	資料等
気 付 く 15 分	<p>1 学級目標の反省アンケートの結果から学級の実態を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級役員が発表する ・気づいたことを学級全体に問いかける ・いつまでに100点にするかを考えさせる <p>2 卒業式までの日程を確認し、卒業までにアンケート結果をどうするかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容は、学級目標の4観点（努力・理想・意志・無限）に基づいて作成する。 ・共同の課題としてとらえるために、個人で、クラス全体の評価の点数をつけた。 ・アンケート調査したものを学級役員に事前に集計させる。 ・一人ひとりの思いを大切にするために、集計結果は無記名とする。 ・集計をもとに、学級役員に結果を発表させる。 ・最大値、最小値、平均、そして分布のグラフの順で提示させる。 ・落ちているところだけの引き上げだけではなく、全ての観点に目を向けさせる。 ・設定点数の低い子にどうすればよいかを考えさせる。 <p>→自他の理解能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級役員に結果と気づいたことを発表させる。 <p>→情報収集・探索能力 役割把握・認識能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が司会進行をする。 ・全体で話し合いをする。 ・卒業までに何日あるかを確認させ、その中で具体的にどの部分を改善するかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果は別黒板に示す。 ・紙板書(最大値、最小値、平均、グラフ) ・これまでの行事は学級掲示を参照する。 ・これからの行事は紙板書で黒板に掲示する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けて、どういう姿でいたらいいのかを出させる。 <p>→課題解決能力</p>	
	卒業までに自分たちができることを考えよう。		
<p>考える</p> <p>・話し合う</p> <p>20分</p>	<p>3 問題を解決するために自分たちがどんなことをしたらよいかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合わせる。 ・思いついたことをどんどん短冊カードに記入させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎自己の生活を振り返り、よりよい生活を目指そうとしている。 (関・意・態)【発表】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班の代表者に発表させる。 ・卒業までに何かをする、ということを考えさせる。 ・みんなで何かをやろうという話が出てくることを望む。 <p>→計画実行能力 課題解決能力</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎自己の課題を見だし、よりよい改善の方法を考え、判断している。 (思・判)【発表、プリント】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・短冊カード ・ペン
<p>振り返る</p> <p>5分</p>	<p>4 本時の学習を振り返り、みんなで何をしていくかを考える。</p> <p>5 感想発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで何かを起こそうという話で終わっても良しとする。 ・活動の名前を決められるならきめさせる。 <p>→計画実行能力 課題解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業で思ったことをまとめ、卒業に向けて自分としてはどうしていくかを発表させる。 ・振り返りカードに記入させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎卒業に向けてよりよい生活を送ることの大切さや実践方法を理解している。 (知・理)【発表・プリント】</p> </div>	
	<p>6 教師の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年目標に戻して話をまとめる。 ・話合いの仕方や態度、話合いの内容、今後の 	

	<p>活動への意欲付け等を視点に話し、実践への意欲化を図る。</p> <p>・「過去、未来を考えて、今を見つめる。そして、小学校生活の集大成である卒業式を、充実した姿、成長した姿で迎えること、そして、中学校に夢と希望を持って入学できるようにさせたいのです。そのためには、今から何をやるかを明確にする必要があったのです。今日はそれが決まったのです。今日がみんなの夢に向かっての第1歩。」</p>	
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

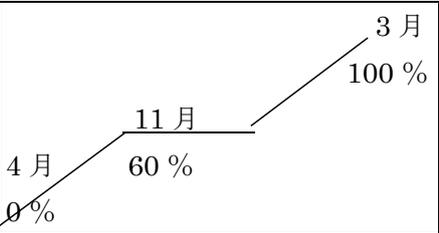
(4) 板書計画

・ 黒板の上

夢に向かって光り輝け 6 年生	学年目標
-----------------	------

努力	理想	意志	無限	学級目標
----	----	----	----	------

・ 黒板

<p>課題 卒業までに自分たちが できることを考えよう。</p>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>感謝</td><td>感動</td><td>感激</td><td>お礼</td></tr> <tr> <td>歴史</td><td>伝統</td><td>継承</td><td>思い出</td></tr> </table>	感謝	感動	感激	お礼	歴史	伝統	継承	思い出	<p>自分たちが できること</p>
感謝	感動	感激	お礼							
歴史	伝統	継承	思い出							
 <p>4月 0% 11月 60% 3月 100%</p>		<p>具体的な 行動</p>								
<p>これまでの行事 掲示を見る</p>	<p>これからの行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なかよし集会 ・ 児童会総会 ・ 6 送会 引き継ぎ式 ・ 卒業式 	<p>この取り組みの名前</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 卒業 7 6 日プロジェクト ~ ~ </div>								

・ 黒板の横

努力	理想	意志	無限																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: right;">大</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">均</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">グラフ</td></tr> <tr><td style="text-align: left;">小</td></tr> </table>	大	均	グラフ	小	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: right;">大</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">均</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">グラフ</td></tr> <tr><td style="text-align: left;">小</td></tr> </table>	大	均	グラフ	小	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: right;">大</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">均</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">グラフ</td></tr> <tr><td style="text-align: left;">小</td></tr> </table>	大	均	グラフ	小	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: right;">大</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">均</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">グラフ</td></tr> <tr><td style="text-align: left;">小</td></tr> </table>	大	均	グラフ	小
大																			
均																			
グラフ																			
小																			
大																			
均																			
グラフ																			
小																			
大																			
均																			
グラフ																			
小																			
大																			
均																			
グラフ																			
小																			